

インフラマネジメント基盤 (DoboX) 構築事業の進捗状況について

1 要旨・目的

令和3年3月に策定した「広島デジフラ構想」に掲げるデータ利活用の推進に向け、公共土木施設に関する情報の一元化・オープンデータ化を可能とするシステム基盤であるインフラマネジメント基盤(DoboX)の構築を進めており、システム開発に必要な仕様が確定したため、システム基盤調達の公募を開始する。

2 現状・背景

インフラデータについては、道路の規制情報や河川の観測情報などのデータが施設毎に構築したシステム等で個々に管理されており、施設管理者間で十分な連携が図れていないことや、オープンデータ化が十分でないことから、民間企業等でのデータの利活用が進んでおらず、利便性などの県民サービスの更なる向上などにつなげるためには、インフラデータを官民で利活用できる仕組みの構築が必要となっている。

3 概要

(1) 対象者

—

(2) 事業内容 (裏面システム概要図参照)

本システム基盤の主な機能は次のとおり。

- ①データの検索・ダウンロードや、利用者とのデータの自動連携を可能とする公開機能
- ②道路の規制情報や河川の観測情報など既存システムとの自動連携や、システム基盤に直接データ登録できる集約機能
- ③本システム上でデータ*(オープンデータ, シェアードデータ, クローズドデータ)の公開範囲や、シェアードデータの閲覧権限等を設定する管理機能

* 公開を前提とするオープンデータ, 許可した者だけ限定公開するシェアードデータ, 県のみ閲覧できるクローズドデータがある

(3) スケジュール (予定)

令和3年9月に契約し開発を進め、令和4年出水期前から本格運用を開始する。

区 分	令和3年度			令和4年度
	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
	★R3.7 公募開始 ★R3.9 契約			★R4. 出水期前 運用開始
システム基盤調達	★ — — — ★	—————★		
既存システム改修*			— — — — —	— — — — —

*システム基盤と既存システムとをデータ連携するための改修

(4) 予算 (単県)

内 容		予 算
インフラマネジメント基盤 (DoboX) 構築事業	システム基盤調達等	110,000 千円

(5) 今後の対応

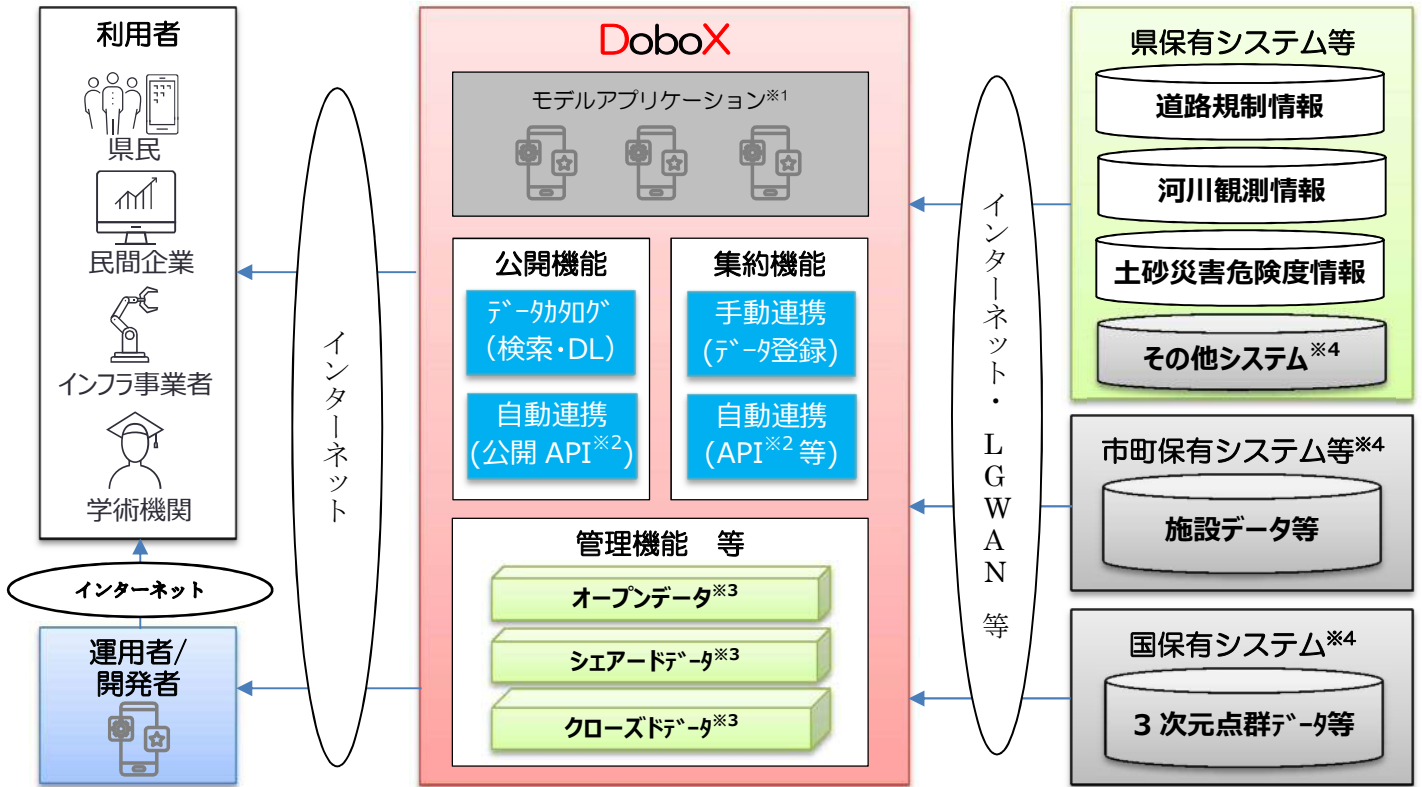
7月に公募開始、9月に契約を行い令和4年度の運用開始を目指す。
運用開始後も県民の利便性向上を図るため、民間企業等のニーズの変化に柔軟に対応し、国や市町等のデータ連携を順次拡大していく。

システム概要図

新たなサービス

情報の一元化・オープン化

既存システム



※1 本システム構築業務には、モデルアプリケーションの開発は含まない（別途開発）

※2 インターネット上でソフトウェア間のデータ連携が可能な機能をいう

※3 管理データには、県民への公開を前提とするオープンデータ、広島県が許可したものに限定公開するシェアードデータ、広島県のみ閲覧できるクローズドデータの3種類のデータがある

※4 本構築では防災情報を中心とした県保有システムと連携し、運用開始後、連携先等を順次拡大しデータや機能をアップロードしていく